

開講科目名	総合科目I		
担当教員	小高 裕之	開講区分	単位数
		後期	2単位

## 授業のテーマと到達目標

「グローバル人材に不可欠な教養-社会基礎学-」  
 世界は冷戦終結以降、新興国の急成長や情報通信技術のめざましい進歩、金融市場のボラリティ化などにより、大交流・大競争の時代にシフト。  
 このようなグローバル時代に活躍する人材に不可欠とされる社会基礎学。  
 本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、全学部を対象に、今後の大学生活で身につけるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。

## 授業の概要と計画

以下の13分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

「グローバル化」、「資源・エネルギー」、「インフラ」、「震災・防災」、「政治・政策」、「産業」、「安全保障」、「金融」、「技術」、「一次産業」、「海外輸出」、「アジア」、「成長戦略」

- 10月4日 リレー講義の意味・意義（高敷裕三：JAPIC専務理事・事務局長）
- 10月4日 【パネルディスカッション】グローバル化とは何か？グローバル化の中で日本は？学生は何を学び、何を身につけるべきか？（コーディネーター 高敷裕三：JAPIC専務理事）
- 10月18日 エネルギー政策が大事な理由（藤原幸則：関西経済連合会理事）
- 10月18日 成長するためのインフラとは（関西の成長が国益に大いに貢献する観点から）（木村泰之：アジア太平洋研究所事務局長）
- 11月1日 震災復興の現状と課題（野田武則：釜石市長）
- 11月1日 「次の、日本。」政治の責任と政策（直嶋正行：参議院議員）
- 11月15日 産業の近現代史（門脇直哉：JAPIC常務理事）
- 11月15日 日本の安全保障環境と防衛政策（鈴木敦夫：防衛省大臣官房審議官）
- 11月29日 現代の金融システム（吉村隆：ゴールドマン・サックス証券マネージングディレクター）
- 11月29日 モノづくりを支える技術：工作機械とは（本間義朗：ホンマ・マシナリー代表取締役社長）
- 12月6日 日本の農林水産業（末松広行：林野庁林政部長）
- 12月6日 都市開発の海外輸出（石川貴之：日建設計総合研究所理事）
- 12月20日 アジアの成長と日本（奥田真弥：新日鐵住金常務執行役員）
- 12月20日 【パネルディスカッション】日本経済を考える-日本は、何でメシを食っていくのか？（コーディネーター 田邊弘幸：双日顧問）
- 1月10日 総括（小高裕之：連携創造本部教授）

## 成績評価と基準

講義の70%以上（15回中11回以上）の出席者の期末試験成績に基づいて評価する。

## 履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

準備学習としては、各講義のテーマや講師の所属先等について、ホームページや図書などであらかじめ調べておいてください。  
 また、講義時間内に質疑時間を設けるので、わからなかったことや興味を持ったこと等について、積極的に質問・議論し、講義に参加してください。  
 復習としては、講義の中で興味を持った内容について、自分なりに好奇心を持って調べ、周囲と議論するようにしてください。

## オフィスアワー・連絡先

職 名：連携創造本部 教授  
 氏 名：小高 裕之  
 連絡先電話： 5402  
 E-Mail Address：odaka@port.kobe-u.ac.jp

## 学生へのメッセージ

講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か?」、「グローバル化の中で日本は?」について理解し、大競争時代の事実認識についての強い関心と好奇心、グローバル時代にチャレンジするための備えに取り掛かることを期待します。

## 今年度の工夫

各回の講義がリレー形式でつながっていくように配慮します。

## 教科書

講義当日にプリントを配付します。

## 参考書・参考資料等

## 授業における使用言語

日本語

## キーワード

グローバル化 資源・エネルギー インフラ 震災・防災 政治・政策 産業 安全保障 金融 技術 一次産業  
海外輸出 アジア 成長戦略 社会基礎学 大競争時代 チャレンジ リレー講義